

JR 連合ビジョン ～私たちが追求する「みんなの JR 連合」～

1 私たちが目指す理念

出会い ふれあい 語り合い

～みんなの歩みで広がる明日を創り出そう～

私たちが JR 連合組合歌で常に耳にしてきた「出会い ふれあい 語り合い」というフレーズ。これまで JR 連合に集う仲間全員が目指してきた理念を端的に示す言葉である。この理念は将来にわたり希求し続けるものである。

職場に集う仲間。地区、系統、会社を越えて JR 産業に集う仲間。そうした仲間が組合活動を通じて「**出会い**」、仲間の輪ができる。そうした仲間の輪こそ、多くの仲間が支える JR 産業の力の源泉である。そして仲間が上司部下の関係、採用種別の違い、性別の違い、所属する会社の違いといった様々な立場を乗り越えて「**ふれあい**」、結束する。さらにそうした仲間が「**語り合い**」、お互いを理解しあい、それぞれの不安や悩みを共有し、力を合わせて様々な課題に対応すべく歩んでいく。そうして出来上がった仲間の輪は、ひとつの労働組合内で完結するのではなく、労使の間に広がり、地域社会に広がり、様々な産業に集う仲間広がっていく。広がりは無限である。

また、仲間と出会い、ふれあい、語り合うことで相手の立場を理解することができ、それは自分の仕事の意義への理解につながり、結果として自分自身の社会における役割の認識へと至る。この気付きによって、私たちの視野は広がっていく。労働組合は私たちの成長の場でもある。

少子高齢化、人口減少など、私たちの前には厳しい現実が立ちはだかる。しかし、将来は私たちの手で変えられる。雇用の確保や労働条件の向上はもとより、全ての仲間が安心して将来を展望できるよう、JR 連合及び加盟全単組は、JR 産業の持続的発展を実現し、そして全ての仲間と家族の幸せを実現する。「出会い」「ふれあい」「語り合い」ながら全ての仲間が連携し成長しながら、希望に満ちた「広がる明日」をみんなの歩みで創り出そう！

2 運動の方向を示す 6 本の柱

1 私たちは、 仲間同士が集い、 自由かつ活発に対話できる場を創出します。

組合員同士が気軽に集まり、語り合う場こそ組合活動の原点。組合員同士が自由かつ活発にコミュニケーションできる場作りは、これからも私たちの大事な役割である。

単に職場単位だけではなく、地区単位、系統、グループ会社間その他、様々な対話の場が輪の拡がりを作り出し、一体感を醸成することで助け合いの輪を拡げていく。

2 私たちは、 仲間に寄り添い、想いや抱える悩みに耳を傾け、 その解決に向けて取り組みます。

仲間一人一人に寄り添う世話役活動はどのような時代であっても最も大切にすべき取り組みである。決して職制だけでは集約できない組合員の率直な想いを、組合活動を通じて丁寧に把握していく。

把握した声は「私」の課題から「私たち」の課題として共有化し、解決に向けて総力を挙げて取り組む。そして、取り組みの手段として労使協議や共済活動といったあらゆる諸行動の質的向上を図る。加えて、取り組んだ過程と結果は組合員にしっかりと周知し、その上で次なる課題解決に取り組んでいく。

3 私たちは、 JR産業に集う全ての仲間に、 私たちの理念を広く語り掛けていきます。

JR連合が掲げる理念を共有する「自由にして民主的な労働組合」の存在こそ、JR産業を構成する全ての会社が持続的な成長を遂げる上で必要不可欠である。その確固たる認識に基づき、JR連合に加入していない多くの仲間、そして多様な雇用形態で働く仲間を迎え入れ、JR産業全体の発展の基礎を築く。

そして、異なる立場の仲間に想いを馳せながら、寄り添い、私たちの理念を語り掛けることで、JR産業で働く全ての仲間のJR連合への総結集にまい進する。

4 私たちは、 JR産業及び各社の持続的発展に参画します。

JR産業及び構成する全ての企業が持続的に発展しなければ、組合員・家族の幸せを実現することはできない。このJR連合にとって極めて重要な価値観を全ての仲間と共有した上で、労働組合の強みを生かして健全な企業運営のための経営チェック機能を発揮し、建設的かつ具体的な提言に基づいて個別企業労使における労使協議をはじめとする取り組みを展開する。そして、企業活動への貢献と連動して各種労働条件の改善に向けた取り組みの強化を図る。

一方で、企業労使で解決できない課題については行政・政治を巻き込みながら政策実現の取り組みを推進する。

5 私たちは、 社会とつながり、地域とつながり、 支え合いの輪を広げていきます。

JR産業は社会の支えがあって成り立っている。JR産業が今後も地域社会に必要不可欠な存在であり続けるために、そして、組合員とその家族が地域において生き生きと暮らしていくために、私たちはJR産業内に留まることなく、社会とつながり、地域とつながり、他産業・労働組合の仲間とつながっていく。

その中でお互いが支え合い、助け合う包摂的な社会を実現するとともに、多様な価値観を吸収し、自組織の強化に繋げていく。

6 私たちは、 組合活動を通じて 将来のJR産業を担う人材を育成します。

組合活動を経験することにより、相互信頼に基づく人的ネットワークの構築、視野の拡大といった、職制では決して経験できない貴重な成長の機会を得ることができる。また、実際に組合活動に能動的に取り組んでこそ、労使関係の意義や労働組合の必要性をより深く理解できるのである。

今後もJR産業を支え続けるのは人である。私たちは、JR産業で働く仲間が組合活動を通じて人と人とのつながりを大切にする人材、広い視野と深い識見を持った人材へと成長を遂げるよう、人材育成に取り組んでいく。